

質 問	回 答
<p>1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等について</p> <p>本学施設部における建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する運用状況及び契約方法について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査で、事前の審査をしていることは理解したが、低入札案件は工事完成後にも特別に確認を行ったりしているのか。それとも、完成検査においてその点も含めて検査されているのか。 <p>2. 審議対象建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果および抽出案件の審議について</p> <p>1) 一般競争方式：政府調達に関する協定適用対象工事</p> <p>①大阪大学（吹田）ライフライン再生（特別高圧受変電設備等）電気設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフライン再生工事というのは、特殊な工事なのか。 ・ライフラインというのは大学全体ということか。 <p>2) 一般競争方式：政府調達に関する協定適用対象工事を除く</p> <p>③大阪大学（豊中）外壁クラック補修等その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事内容としてはそんなに難しい工事ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査を経て契約を行った業者に対して、特別に追加で検査を行うといったことはしていない。完成検査の中で品質の検査も行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・本件は 77,000V の特高受変電設備の更新工事となる。一般的な建物の受電設備は 6,000V であるため、本工事は一般的な工事内容ではない。工事業者の実績としては決して多くないが、電力会社等ではよくある受変電設備の改修工事であるので、内容が特殊なわけではない。 ・大学全体を支えるライフラインの一部を改修する工事である。 <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。

質 問	回 答
<p>④大阪大学（吹田他）体育館等照明器具改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格と入札金額にもともと乖離があったということか。 ・ 予定価格そのものは実勢と比べて高くないのか。 ・ 照明器具自体の品質は確保されているのか。 ・ 工事内容として体育館の照明というのが特殊なものだから低入札になりやすいのか。それとも照明工事全般にいえる傾向なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明改修工事というもので低入札が多くなる傾向にあることは認識している。工事の難易度の割に高額な案件であるため業者が集中しやすく、低入札が多くなる傾向にある。 ・ 予定価格の内訳と業者の内訳で差があることは認識している。内容の調査も行っているが、業者と大学の積算方法が違うため、そこで約2倍の差が生じている。諸経費についても業者はかなり削っているため、差が開く要因となっている。大学側には積算ルールを変える根拠がなく、なるべく実勢に即した金額になるよう努力はしているが、それ以上に業者の方が安くなってしまっているのが現状。 ・ メーカーを指定しているので、器具の品質については確保されている。 ・ 低入札ということについては、照明工事全般にそういった傾向がある。体育館という場所柄、足場が必要だったりということはあるが、全体の比率としては大きなものではなく、体育館だから安い、というわけではない。
<p>⑤大阪大学（吹田）ライフライン再生（特別高圧受変電設備等）電気設備工事（工事費負担金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は特にチェックのしようがなく、請求された金額を払う、ということか。 ・ 特高受変電設備の工事に伴って発生したということか。たびたびあるようなものではなく、内容が特殊なものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのとおり。ただし高額の随意契約であるため、随意契約理由の精査や内容については詳細に整理を行った。 ・ そのとおり。内容も特殊なものとなる。本学では過去に事例がなく、今回が初めての契約となる。

質 問	回 答
<p>⑨大阪大学（豊中）同位体科学総合棟新営その他 工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式で行った事業が13件あったということです。本件を選定された理由は。 ・総合評価落札方式では、工事内容によって金額以外の要素による選定の観点を入れても良いのでは。 ・対象案件が多い場合は審議案件がもう少し多くても良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式のうち、予定価格が最も高額だったため選定した。 ・今後検討したい。 ・今後検討したい。
<p>⑩大阪大学（吹田）ライフライン再生（R I 設備） 工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積回数が12回となった経緯は。 ・見積の回によって金額の刻み方が変わっているが。 ・工事の中で追加があった場合はどうなるのか？ どういった対応をしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に予定価格を公表していないため、業者の方も入札時点でどのくらい予定価格と乖離しているのかが掴みづらかったのではないかと考えている。その結果、予定価格の範囲内に達するまでついてきてくれたということだと理解している。 ・業者の方も、できるだけ損をしない範囲で予定価格に近い金額で落としたいという気持ちがあるため、回数が多くなると細かく刻んでくる傾向があり、その結果だと考えられる。 ・設計図書が変わるような場合は変更契約を行っている。追加費用が発生するものについては追加で支払う。
<p>3. 指名停止等の措置状況について 令和元年度に措置した指名停止の案件は3件あった旨を報告。</p>	<p>(特に意見なし)</p>

質 問	回 答
<p>4. その他</p> <p>再苦情処理については申立てが無かった旨を報告</p> <p>談合の疑義事実案件の無かった旨の報告。</p> <p>・コロナ禍という状況下で、工事についての最近の状況を聞かせていただきたい。</p> <p>(次回の開催について)</p> <p>令和2年4月から翌年3月までの案件を審議対象とし、来年9月～10月頃に開催することについて了承いただいた。</p>	<p>(特に意見なし)</p> <p>(特に意見なし)</p> <p>・契約、入札に関しては特に滞っているということはない。現在履行中の工事で、一部影響はある。工事現場はどうしても三密になる傾向があり、特に工期末にはそういった状況が発生しやすい。そういった状況を避けるために対策を行う関係で、引き渡しの時期が若干遅れているものがある。我々もそういった対策の経費増の部分については設計変更の対象として適切な価格で変更契約を行っている。</p>